

PRESS RELEASE

報道各位

2022 年 5 月 10 日

**学校法人ソニー学園 湘北短期大学がウクライナ人研究者2名を募集
施しではなくパートナーシップによるウクライナ支援**

学校法人ソニー学園 湘北短期大学(神奈川県厚木市、学長:高野瀬一晃)は、4月1日に新設した研究センターの設立にあたり2名の研究者を募集しますが、昨今のウクライナの状況を鑑み、ウクライナ人の研究者および帰国見合わせを余儀なくされているウクライナ人大学院生を優先して採用する事といたしました。

ウクライナは IT 先進国でもあり、ウクライナの人材は、学にとって重要なパートナーになると考え、施しではなく、ウィンウィンのパートナーシップによるウクライナ支援を展開します。

詳細は研究者人材データベース「JREC-IN」に掲載するとともに、在日ウクライナ大使館にも日本国内にいるウクライナ人研究者・大学院生への周知協力を依頼する予定です。

ソニー学園理事長 高野瀬一晃コメント

『ソニーは戦後間もない昭和 21 年に産業による日本復興と平和な社会の実現を目的として設立された企業です。その創業者の井深大は、真の教育とはなにかを考え「世の中を生きて行く、人を率いて行く人柄を身につける教育」を見学の理念として学校法人ソニー学園を設立しました。

昨今、ロシアによるウクライナ侵攻と、ウクライナにおける多くの民間人被害の報道に接すると胸が痛む想いです。この歴史の中で全ての戦争は自衛の名の下に行われてきました。一方の意見だけを見る、世の中には様々な人がいて様々な意見があるという見方をしないところからこうした理不尽な戦争は始まります。

本学では昨年、「ソニー学園ダイバーシティ宣言」を行いました。また、同ダイバーシティ宣言と共に各種ハラスメントを防止する機能も併せ持つダイバーシティ推進 & ハラスメント防止室を設置しました。ダイバーシティとハラスメント防止をひとくりにすることに違和感を持つ人もいました。しかし、ダイバーシティの基本は、他者に寄り添い、世の中には自分の価値観だけでない様々な価値観を持った人がいて、すべての人がありのままに生きやすい世の中をつくるのがダイバーシティの目的であり、ハラスメントは一方的な価値観で他者を苦しめる行為です。我々はダイバーシティの推進とハラスメントの防止を両輪としてこれを進める事が、あらゆる差別や偏見、戦争などの争いを防ぐ手立てになると信じています。

既に日本の多くの大学がウクライナ人の学生の受け入れを表明しています。それもウクライナ支援のひとつのあり方だと思い各大学の決断に敬意を表します。しかし、ウクライナの支援は施しだけなのでしょうか。

ウクライナはIT先進国でもあります。日本で学んで高度な知識を得た学生、祖国で研究が続けられなくなった研究者は、日本の産業や研究を支援してくれる強いパートナーになり得ると考えています。

そこで我々は、研究者公募をウクライナ人優先で採用するという試みを行います。わずか2名という小さな試みではありますが、ウクライナの大学院生、研究者のみなさまに高いプライドを持って、この公募に応募いただければと考えています。この公募は総合研究センター業務を行う助教ポジションの人事ですが、業務時間の20%は、皆さんの自由な研究活動の時間として保証いたします。』

学校法人ソニー学園 湘北短期大学について

ソニー学園はすべての人に教育をというソニー創業者井深大の想いにより1964年に設立され、1974年に学校法人ソニー学園湘北短期大学が開学しました。

ソニーを創設した井深大ファウンダーの日本の次時代を託す若人達の育成に対する強い思い入れに、意を同じくした初期の学園関係者により開設されたものです。故井深大氏が開学にあたり述べられた言葉は、本学の「建学の精神」となっております。現在、総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科の3学科を有し、学生数約930名の総合短期大学となっております。

本件に関する問合せ先

学校法人ソニー学園 湘北短期大学広報部

TEL:046-247-3131

FAX:046-247-3667

E-mail: koho@shohoku.ac.jp